

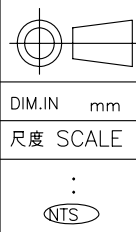
室外ユニット形名	
PUHY-P500M-E	PUHV-P560EKM-A-ST
PUHY-P560M-E	PUHV-P560M-E
PUHY-P630M-E	CAH-P375C
PUHY-P674M-E	CAH-P500C
PUHY-P730M-E	MCA-P375C(W)(-PT(N))
PUHY-P450KM-E	MCA-P500C(W)(-PT(N))
PUHY-P730KM-E	BAL-P375C
PUHY-P500SM-E	BAL-P500C
PUHY-P560SM-E	CAH-P500CQ-H
PUHY-P630SM-E	CAH-P500CP1
PUHY-P670SM-E	PUD-P450M-E
PUHY-P730SM-E	PUD-P560M-E
PURY-P500M-E	CAH-P500CK
PURY-P560M-E	
PURY-P630M-E	
PURY-P674M-E	
PURY-P730M-E	
PUHY-P450REM-A	
PUHY-P500REM-A	
PUHY-P560REM-A	

- 注1. 防雪架台の高さHは、予想される積雪量の2倍程度として下さい。又、架台はアングル鋼材等で組み立て、風雪の素通りする構造とし架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定して下さい。
(大きすぎると、その上に積雪します)
- 注2. ユニット設置時、季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように考慮して下さい。又、シュートサイクルにならないように十分なスペースを確保して下さい。
- 注3. 屋根から雪が落ちる場所への設置はさけて下さい。又、雪下ろしは早めを実施して下さい。
- 注4. 本図を参考として、現地に架台の製作、施工を実施して下さい。

形名	材質	表面色	質量	備考
AG1S-KC74TD(フード部のみ)	SUS304 t1.0	地金色	44.2kg	PAC-KB74TDと互換

改定 CHANGE
適用室外機形名追加のため
改定 '09-11-14 加藤(智)
梶村 A
適用室外機形名削除のため
改定 '12-3-23 郡司
梶村 B

出図先()	
控	1



三菱電機システムサービス株式会社

作成日付 DATE	'06 — 10 — 31
作成 DRAWN	加藤(智)
照査 CHECKED	岩村
設計 DESIGNED	加藤(智)

検認 APPROVED	梶村
----------------	----

TITLE	AG1S-KC74TD 防雪フード組込図
DWG.No.	X903703M00357